## 食料・農業・農村基本法の見直しの背景説明

農林水産省 総括審議官 杉中 淳

## 1. はじめに

食料・農業・農村基本法(以下「現行基本法」)は、1999年に制定され、約20年が経過しました。 その間、国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化など、農業構造が大きく変化し、さらに昨今で は、ウクライナ情勢や輸入食料・資材の価格高騰など、食料安全保障上のリスクも高まっていま す。

農林水産省では、今が農政のターニングポイントを迎えているとの強い意識のもと、昨年9月 に、現行基本法の検証をスタートしました。

食料・農業・農村政策審議会に基本法検証部会を設置し、計17回開催され、各分野の実務家等の方々からのヒアリングや検証・見直しに関する議論が行われてきました(図1)。本年9月11日に、これらを踏まえて「最終取りまとめ」が行われました。本稿では、この最終取りまとめの内容を中心に、食料・農業・農村をめぐる情勢変化と課題、それらを踏まえた今後の見直しの方向について御紹介いたします。

## 図1 これまでの検証・検討の状況

## 食料安定供給·農林水産業基盤強化本部 令和4年 9月9日 第1回 食料安定供給·農林水産業基盤強化本部 ○総理指示 (抄) 全ての農政の根幹である 食料・農業・農村基本法につい て、制定後約20年間で初めての法改正を見据え、関係閣 僚連携の下、**総合的な検証を行い、見直し**を進めてくださ また、喫緊の課題である食料品の物価高騰に緊急に対 応していくため、(中略)農林水産大臣を中心に、来年に 結果を出せるよう、緊急パッケージを策定してください。 食料安定供給·農林水産業基盤強化本部 「食料品等の物価高騰対応のための緊急パッケージ」の決定 12月27日 第3回 食料安定供給·農林水産業基盤強化本部 ○総理指示 (抄) 世界的な食料情勢や気候変動 、海外食市場の拡大な ど我が国の食料・農業を取り巻く課題の変化を踏まえ、野 村農林水産大臣を中心に 、関係閣僚の協力を得て 、来 年度中に食料・農業・農村基本法改正案を国会に提出 することを視野に、来年6月を日途に食料・農業・農村政 策の新たな展開方向を取りまとめてください。 令和5年 6月2日 第4回 食料安定供給·農林水產業基盤強化本部 ○総理指示 (抄) 野村農林水産大臣を中心に、関係各位におかれては 来年の通常国会への改正案提出 に向け、食料・農業・農 村基本法の改正に向けて作業を加速 してください。あわせ て、施策の具体化を進め、年度内を目途に、工程表を取 りまとめてください。

-	9月29日	食料・農業・農村政策審議会基本	<b>~</b> /丛代皿 GF	云の開催天根	
R4	9 /1290	<ul><li>は 食料農業農村政策審議会に諮問 食料農業農村政策審議会基本法検証部会の設置</li></ul>			
	10月18日	第1回有識者ヒアリング食料の輸入リスク	寺川 彰 平澤 明彦	丸缸株式会社 代表取締役割社長 執行役員	
			114 735	株式会社農構・金総合研究所執行役員基礎研究部	
	11月2日	第2回有識者ヒアリング (国内市場の将来展望と輸出の役割	吉田 直樹	株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディ	
		国内市場の将米展望と輸出の役割	松元 和博	代表取締役社長CEO 株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディ	
			國分 晃	株式会社パン・パンパッショインターアショナルボールティ 海外事業統括責任者機 北米事業責任者	
				国分グループ本社株式会社代表取締役社長執行役員	
	11月11日	第3回有識者ヒアリング	清原 昭子	福山市立大学都市経営学部教授	
		国際的な食料安全保障に関する考え方	米山 廣明	一般社団法人全国フードバンク推進協議機表理事	
	11月25日	AT TO THE PROPERTY OF THE PROP	江川 章 丸田 洋	中央大学経済学部 准教授	
	42000	(人口減少下における担い手の確保		株式会社穂海耕研 代表取締役	
	12月9日	第5回有識者ヒアリング (需要に応じた生産	関根 久子	農研機構中日本農業研究センター	
		需要に応じた土産	富士 聡子	転換短研究領域烟輪作システムグルーD級研究員 オイシックス・東地株式会社執行役員Oisb商品本部長	
	12月23日	第6回有識者ヒアリング	地主 建志	株式会社水磁生産技術研究所表取締役社長	
		食料安定供給のための生産性向き術開発	成勢 卓裕	株式会社レグミン代表取締役	
R5	1月13日	第7回有識者ヒアリング	三好 智子	国際有機農業運動連盟 (FOAM) 世界理事	
		(持続可能な農業の確立	信達 等	不二額油グループ本社株式会社執行役員	
	48270	祭の日本連邦と対しが明社の原稿		油路事業部門長 兼 SCMグループリーダー	
	1月27日	第8回有識者ヒアリング農村の振興	山中 大介 渡部 雅俊	ヤマガタデザイン株式会社代表取締役社長	
	2月10日	イスローグ は は なかあらいた地を育む会話動組織代表   10日 第9回食料農業農村をめぐる情勢の変 <b>(備業 食品安全食品表示知的財産</b>			
	2月24日 第10回 今後の展開方向 <b>基本理念</b>				
	3月14日	日 第1 <b>1</b> 回 今後の施策の方向 <b>食料</b>			
	3月27日	3月27日 第12回 今後の施策の方向(農業)			
	4月14日	14日 第13回 今後の施策の方向(農村環境			
	4月28日	月28日 第14回 今後の施策の方向(基本計画等			
	5月19日	第15回 中間取りまとめ案)			
	5月29日	第16回 中間取りまとめ			
	6月~	国民からの意理望の募集(1,179件)、地方意見交換会(11ブロック			
	9月11日	第17回 最終取りまとめ 食料農業農村政策審議会から答申			